

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

収益性の高い経営基盤の確立と組織力の強化により、グループ全体で更なる成長を目指す

連結売上高
460億円

連結経常利益
25億円

株価純資産倍率
0.67倍

② 中長期の経営戦略

1. 付加価値事業の強化

人工ふ化・加工事業の生産性向上。マグロ・ウナギ養殖事業の販路開拓。餌料・飼料の販路拡大

2. 加工事業の拡大

三崎加工場新設、FSSC22000認証取得。EU向けEUHACCP認定取得。本社加工場新設移転計画

3. 持続可能な資源利用

配合飼料の低魚粉化・原料多様化推進。MEL認証取得。水産資源持続利用と環境保全に取り組む

4. 営業力強化

首都圏の量販店・外食への販売推進強化。生産者との関係強化による安定供給体制構築

③ 対処すべき課題

① 国内市場の縮小

- ・ 国民一人あたりの魚類消費量が減少傾向。消費者ニーズの多様化への対応が必要
- ・ ウクライナ情勢などによる世界経済停滞と資源価格上昇の影響

② 生産環境の悪化

- ・ 就業者数減少・海洋環境変化・水産資源減少により生産量減少が継続
- ・ 特に養殖業で餌代上昇が採算性を圧迫。生産者の経営安定化が急務

③ 事業構造への依存

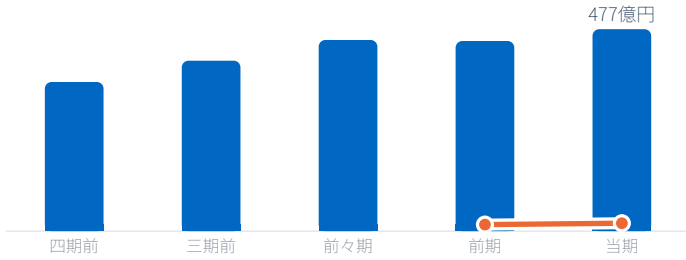
- ・ 売上高約99%を鮮魚・餌料飼料販売で占める。業界動向の影響が極めて大きい
- ・ 加工事業強化やEU向け輸出拡大による事業多角化が重要

面接で使えるポイント

- ・ 水産物消費が海外で拡大する一方、国内では減少傾向。このギャップを埋める戦略が必要
- ・ FSSC22000やEUHACCP認定、本社加工場新設計画など、加工事業強化による事業転換に注力
- ・ MEL認証取得や低魚粉化飼料推進により、SDGs達成と事業成長の両立を目指す姿勢

証券コード 9955

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
477億円営業利益率
3.9%財務健康度
53点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 41.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
478万円
卸売業内 266位/282社平均年齢
42.9歳
卸売業内 119位/283社平均勤続
12.7年
卸売業内 175位/282社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ヨンキュウ【9955】：決算情報

